

地元企業の魅力 高校生に

高砂で社長講座 挑戦の大切さ語る

企業の経営者が地元の高砂で仕事内容や自身の生き方などを話す出前講座「夢のかたち講座」が23日、高砂市の県立松陽高校で開かれた。生徒たちに地元企業の魅力を知ってもらおうと、加古川納税協会が姫路、

加古川両税務署、高校の協力で初めて開いた。

高砂市にあるプラントメンテナンスの会社「中野プランツ」の中野哲郎社長(60)が講師に招かれ、1、2年生約380人が話を聞いた。

中野社長は33歳で社長を引き継いだ頃を「思いやりがなく横柄な態度だったため、社員の気持ちが悪くはらばらになった」と振り返った。社員に信頼してもらったことの難しさを痛感し、「会社は皆さんが幸せになるため



生徒に自らの生き方を重ね合わせ、講演する中野社長(高砂市で)

の道具という社是を定めて接した結果、ワンチームになれた」と話した。生徒たちには、ポジティブな考え方を持つこと、挑戦することの大切さを説いた。

永井海成さん(17)(2年)は「失敗を恐れずばんばん挑戦していきたいと思うようになった」、坂井来海さん(17)(2年)は「人のために働くという考え方に感心した」と話した。